事例No.	1444
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	大阪府茨木市

事例区分	一般行政

タグ	・公共施設活用 ・新たな政策手法の確立・活用 ・税財政

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

DIY 工房等での木材利用推進による普及啓発事業

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

大阪府　茨木市（DIY工房等での木材利用推進による普及啓発事業）

- 茨木市では、森林環境譲与税を活用し、森林整備の結果産出される間伐材の利用促進及び広く市民が木材製品に触れる機会の創出による普及啓発に取り組む方針である。
- 令和２年度においては、以下の取組を実施した。
  - 国産木材を使用したベンチの設置及びベンチづくりワークショップの実施
  - 国産木材を使用した床張りワークショップ等の実施
- 令和３年度においては、更に、DIY工房等での国産木材利用及び普及啓発のスキーム構築を進めていくこととしている。

□　事業内容

1　IBALAB@広場のベンチ等における国産木材の利用事業

- IBALAB@広場(市民会館跡地暫定広場)に設置するベンチ等について、国産木材を使用するとともに、当該広場で実施するイベント内でベンチの作成ワークショップを実施した。

【事　業　費】990千円（うち譲与税365千円）
（譲与税は、ベンチ等の原材料費に係る部分に充当）

【実　　績】木製ベンチ５台など(木材利用量0.19㎥)
イベント参加者　約1,300人(内WS参加者　５組10人)

2　リノベのいばらきDIY工房床張り事業

- リノベのいばらきDIY工房(活動人口の増加に向けて本市が実施するリノベのいばらきプロジェクトの活動拠点)の２階のリノベーションにあたり床材等に国産木材を使用するとともに、床張りワークショップ等を実施した。

【事　業　費】248千円（全額譲与税）

【実　　績】 工房床整備　55.11㎡（木材利用量0.90㎥）



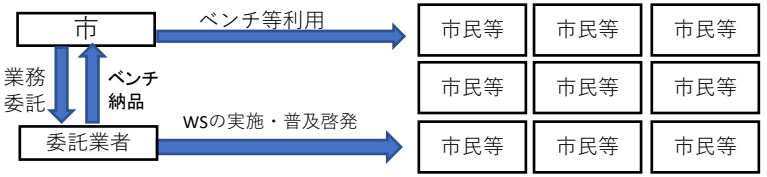
（事業１：IBALAB@広場のベンチ等における国産木材の利用事業のＷＳ風景）



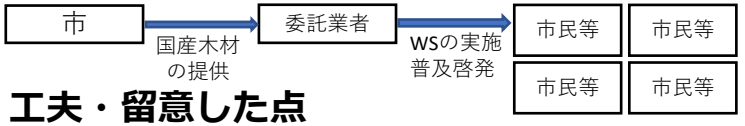
（事業２：リノベのいばらきDIY工房床張り事業のＷＳ風景）

□　事業スキーム

1　IBALAB@広場のベンチ等における国産木材の利用事業



2　リノベのいばらきDIY工房床張り事業



□　工夫・留意した点

- ベンチや床に国産木材を使用するだけに留まらず、市民参加型のWSの実施により、参加者の制作物等への愛着醸成を図り、より効果的に国産の木材の普及啓発に資するよう工夫した。
- 木材の使用と関連性が深いDIY工房での事業と連携することで、より広くより効果的な啓発に取り組んだ 。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	25,162千円
②私有林人工林面積（※１）	546ha
③林野率（※２）	38%
④人口（※３）	280,033人
⑤林業就業者数（※３）	13人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より